



主要な施策と

予算の概要

問政策財政課 ☎ 6710、6713

令和4年度の主要な施策

子育て支援の充実

妊娠期から子育て期に係る切れ目のない支援を目指し、各種事業を実施します。

- ・各種検査や検診費用の一部助成を行います。
- ・子ども医療費受給の認定条件を緩和します。



デジタル化の推進

新たな日常・働き方への対応や市民の利便性の向上、行政サービスの維持・向上を目指し、各種事業を実施します。

- ・各種証明書をコンビニエンスストアで交付できるように取り組みます。
- ・オンラインで公共施設の予約や空き状況の確認ができるシステムを運用します。



経済基盤の強化

市の基幹産業である農業や観光業などの振興を図り、経済の基盤強化や地域の活性化を目指し、各種事業を実施します。

- ・住宅取得費用の補助の対象者を拡大します。
- ・移住者への支援を拡充し、移住者を呼び込む取り組みを進めます。
- ・誘客促進と消費を喚起する「とわだ旅応援キャンペーン」を行います。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、各種事業を実施します。

- ・ワクチン接種の対象を5歳以上に拡大して実施します。
- ・保育施設などに衛生用品購入の補助などを行います。



総合計画における8つの基本目標に沿って主な事業をお知らせします

1 市内外からより多くの人々を消費を呼び込めるまち (産業振興)



温泉施設更新事業

5,717万円

温泉施設について、整備後約30年が経過していることから、更新に向けた調査などを実施します。

2 地域全体で子育て・子育てをしっかりと支えるまち (子育て・教育)



ICT (※) 支援事業

574万円

教職員のICT活用指導力および児童・生徒の学習意欲を向上させるため、効果的な授業構成などに係る指導・助言を行うICT支援員を配置します。

(※) ICT…情報・通信に関する技術の総称

とわだ産品情報発信等事業

648万円

十和田市産食材やとわだ産品の情報発信の強化を図るため、首都圏での常設販売やSNSなどを活用した各種事業を実施します。

スマート畜産機材購入支援事業

442万円

畜産農家の作業の効率化および省力化を図り、担い手の減少や高齢化による労働力不足を解消するため、牛の分娩検知システムなどの購入に要する経費の一部を補助します。

とわだde子育て応援ギフト券給付事業

2,414万円

次世代を担う子どもの誕生を祝い、健やかな成長に寄与するとともに、子育て世帯を支援するため、育児用品などが購入できる商品券を配布します。

子育て支援アプリ「母子モ」導入事業

89万円

子育て情報をより詳細に配信し、子育て世代へ届きやすくするため、母子手帳アプリ「母子モ」を導入します。

出産費用支援事業

1,903万円

子どもの出産に係る分娩費および入院費用のうち、出産育児一時金を超えた部分の一部を補助します。

3 すべての市民が健やかに暮らせるまち (健康・福祉)



成年後見制度利用促進事業

691万円

判断能力が不十分で財産管理や契約行為に支援が必要な高齢者などの法的権利を保護するため、成年後見制度の利用を促進します。

老人クラブ事業

701万円

高齢者の活動促進を図るため、市老人クラブなどが行う社会奉仕活動や健康増進活動などに要する費用の一部を補助します。

4 だれもが楽しく学び、豊かな心と文化が息づくまち (生涯学習・文化・スポーツ)



3人制バスケットボールコート整備事業

3,935万円

バスケットボールを通じたにぎわいと健康づくりのため、少人数でも気軽に楽しめる3人制バスケットボールコートを整備します。

相撲場改築事業

8,572万円

相撲競技の各種大会の安定的な運営および利便性向上を図るため、相撲場改築の基本設計などを実施します。

5 地域で助け合い、災害に強く犯罪のない、安全・安心なまち (安全・安心)



奨学金返還支援事業

207万円

若年世代の地元定着を図るため、高校や大学などを卒業し、本市に在住する人が返還する奨学金の一部を補助します。

リモートワーカー等移住促進事業

395万円

地方への回帰志向の高まりやテレワークなどの普及を契機に、リモートワーカーなどを対象に移住体験や地域住民との交流を実施し、移住促進を図ります。

コミュニティセンター空調設備設置事業

7,278万円

市民活動向上のため、熱中症およびコロナ禍における換気対策として各コミュニティセンターに空調設備を設置します。

6 ゆとりと潤いあふれる暮らしを実感できるまち (環境)



資源再生利用事業

369万円

リサイクル率の向上および資源回収量の増加のため、団体が回収した資源ごみの重量に応じて、奨励金を交付します。また、ごみの減量とリサイクル推進のため、生ごみ等減量事業を実施します。

7 快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまち (都市基盤)



公共交通対策事業

2,100万円

持続可能な公共交通体系の構築に向け、十和田市地域公共交通計画を策定します。また、藤坂・伝法寺地区において、新たに予約制乗合タクシーを運行します。

まちなか交通広場維持管理事業

2,212万円

4月から供用を開始したまちなか交通広場の維持・管理を行います。

8 地域経済社会の持続的な発展を支える強固な経営基盤が確立したまち (自治体経営)



広報とわだデジタル配信事業

32万円

デジタル化推進の一環として、市民の利便性向上を図るため、スマートフォンアプリを活用して広報のデジタル配信を行います。

エスディージーズSDGsフォーラム開催事業

253万円

SDGsに関する市民の認知度向上と取り組み推進への理解促進を図るため、市民向けのフォーラムを開催します。